

くらしと経済・法律

講師名	高橋 秀憲	実務経験等	大学の経済学部における法学・政治学の教授としての経験を活かし、日常生活の視点から、経済のしくみと背景にある法律について講義を行う。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・教養科目	全学科	選択(必修)A群	1	後期	15	1
使用教科書・副教材	プリント					
授業の目的	私たちの日常生活を足がかりに、経済のしくみ全般の理解の深化を図る。そのため、「経済の基本的しくみ」、「具体的な経済活動のしくみ」、「グローバルな視点からの経済のしくみ」について段階的に展開するとともに、背景にある法律の仕組みについて学習する。					
授業の到達目標	日常生活の視点から経済のしくみや背景にある法律への理解、知識を深める。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
1月8日	経済の全体像と基礎知識	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済の大きさとは 2. GDPとは 3. 産業は勤勉から 4. 所得＝支出 5. 国富と国民所得 6. 所得再配分＝社会保障 	4	講義	
1月22日	家計の消費と貯蓄	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家計は消費の主体 2. 家計の投資とは？ 3. お金は使えば使うほど 4. 所得階層と失業 5. 貧困をどう考えるか 6. 働きたくても・・・ 	4		
1月29日	企業の収益と投資	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業は所得の工房 2. コーポレートガバナンス 3. 企業の利益と安定性 4. 投資の資金はどこから 5. 企業の投資決定のあり方 6. 投資は経済の原動機 	4		
2月5日	政府の役目と国際収支	<ol style="list-style-type: none"> 1. 政府の消費と投資 2. 政府と経済成長 3. 国債発行の影響 4. 外国にお金を送るとき 5. 国際収支を構成するもの 6. 国際収支と為替レート 	4		
合計			16	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

評価割合: 筆記試験70%、平常点30%(出席、質問、小テスト)

履修に当たっての留意点等

受講に際しては、事前にプリント等に目を通しておくことが望ましい。授業は各種教科書を要約・補充したプリントに沿って行うが、時間の制約上、主要項目を抜粋して行うので注意すること。